

文化財建造物の保存修理を考える

第2回シンポジウム 近代化遺産の保存修理



2014年11月15日(土) 10:00～17:00 (開場 9:30)

東京国立博物館 平成館

(西門より入場・右下地図参照)

参加費無料
(要・参加申込み)
定員 300名

日本における文化財建造物の保存修理について、歴史を検証し、現状を把握して、その理念とあり方を検討する。あわせて、海外の状況も勘案し、保存修理をとおして見た日本建築の特質を考える。

主催：公益財団法人
文化財建造物保存技術協会

〒116-0013

東京都荒川区西日暮里 2-32-15

☎ 03-6458-3614

FAX 03-6458-3617

後援：文化庁(予定)

(写真 旧下野煉化製造会社煉瓦窯の補強)

開会(10:00)

発表(10:10～16:30)

- ①「近代化遺産保存・活用に関する基本的な考え方」西岡聡(文化庁)
 - ②「近代化遺産保存修理の現状と課題」小林裕幸(文建協)
 - ③ 近代化遺産保存修理の事例
ア「シャトーカミヤ旧醸造場施設の保存修理」高橋好夫(文建協)
イ「旧三河島污水処分場ポンプ場施設の保存修理」井川博文(文建協)
ウ「旧下野煉化製造会社煉瓦窯の保存修理」加藤雅大(文建協)
エ「旧手宮鉄道施設機関車庫の保存修理」石神敏(小樽市教育委員会)
 - ④「近代化遺産を活かしたまちづくりへの取り組み」吉岡博之(舞鶴市教育委員会)
 - ⑤「木造建造物と近代化遺産、その保存・活用」木村勉(長岡造形大学)
- 質疑応答 (16:30～17:00)

お申し込み

募集対象：文化財建造物修理技術者、文化財建造物保存修理に係わる設計監理者・施工者、文化財保存行政担当者、選定保存技術保持者等、関連分野の研究者・学生など

ホームページ上の申込フォームでご応募ください(10月24日<金>必着)。

www.bunkenkyo.or.jp/information

はがき、FAXにも受付しております。
(先着順/住所・氏名・所属・電話番号を明記)

